

人工光合成の社会実装に向けた技術動向

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/260875>1名分料金で
2人目無料

- ◆日時：2026年08月07日（金）10:00～12:00
- ◆受講料：1名につき44,000円（税込、資料付）

会員（案内）登録していただいた場合、通常1名様申込で44,000円（税込）から
・1名で申込の場合、**38,500円（税込）**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計44,000円（2人目無料）**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

- 講師：産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター・人工光合成研究チーム
研究チーム長 博士（理学）三石 雄悟 氏 <ご専門>人工光合成・光触媒を基盤とする光機能性材料

【受講対象】

人工光合成研究に興味のある方全般

【習得できる知識】

本講義を通じて、人工光合成の基礎原理や技術動向を理解するとともに、単なる高効率化ではなく、何をどのように生成するかという設計視点に基づいた技術の本質を習得できる。さらに、スケーラビリティや経済性を含めた観点から、人工光合成を将来のエネルギー・物質変換技術としてどのように発展させるべきかを考察する力を養える。

【講演の趣旨】

人工光合成は、太陽光エネルギーを利用して水や二酸化炭素から燃料や化学原料を生成する技術であり、資源・エネルギー・環境問題を同時に解決し得る次世代のエネルギー変換・物質生産技術として注目を集めている。

本講演では、人工光合成の基本原則や代表的な技術分類に加え、性能評価において重要となる指標やその考え方について基礎から体系的に整理する。また、水素製造を中心とした光触媒技術の研究開発動向について、国内外の取り組みを踏まえながら俯瞰的に解説し、現状の技術レベルと課題を整理する。高効率を追求する従来の視点にとどまらず、生成物の価値や利用形態、さらには社会的受容性まで含めた広い意味での設計視点の重要性について提示しつつ、人工光合成技術を社会実装へと展開していく上での課題を整理するとともに、今後の研究開発の方向性と技術の発展可能性について講演者の考えを紹介する。

【プログラム】

1. 人工光合成技術の研究開発モチベーション
 - 1-1 光合成がもたらす恩恵
 - 1-2 人工光合成の定義と位置づけ
 - 1-3 人工光合成技術の目指す世界
2. 人工光合成を支える科学技術
 - 2-1 基本原理
 - 2-2 人工光合成の分類
 - 2-3 評価指標の考え方
3. 水素製造に関する技術開発動向
 - 3-1 電極型光触媒の技術動向
 - 3-2 粉末型光触媒の技術動向
 - 3-3 産総研の研究開発
4. 本講義の要点整理
 - 4-1 人工光合成の本質的価値とは
 - 4-2 課題の正しい理解
 - 4-3 今後の可能性と研究余地

『人工光合成【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録（無料） ※案内方法を選択してください。複数選択可。

 Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>